

本事業の目的とスケジュール（当初予定）

1. 事業の背景と目標

（背景）

【日本】

- ・国・地方自治体・企業等が一体となった公害克服経験の保有
- ・環境技術の国内市場の飽和、海外における競争力不足

【アジア諸国】

- ・急速な経済成長に伴う環境汚染問題等の深刻化
- ・環境負荷の低減を図りつつ、持続可能な発展を行う必要性の増大



「日本モデル環境対策技術等の国際展開」事業の開始

（趣旨）

「クリーン・アジア・イニシアティブ」（2008年環境省提唱）の趣旨に基づき、我が国の経験を踏まえ、環境汚染対策技術・環境測定技術について、環境汚染対策に係る法制度体系の整備・実施体制の強化や人材育成等とともに「パッケージ」としてアジア諸国に普及・展開を目指す。

また、我が国の優れた環境技術をベースにして、共同の技術実証制度や各国と協調した環境ラベリング等により、環境技術の「アジア標準」化を推進し、環境技術の市場を拡大することを目的とする。



（目標）

アジア諸国において、環境立国・日本としてのリーダーシップの発揮、プレゼンスの向上を図り、持続可能な経済発展を実現する。



（波及効果）

我が国の環境技術の優位性の確保、環境ビジネスの活性化と日本経済の発展、雇用の創出

・対象国

中国・ベトナム・インドネシア

・対象分野

大気汚染、水質汚濁を中心とした環境汚染対策分野

・事業概要（平成21年度）

① 環境対策技術等の国際展開に係る方策の検討

- ・対象国における環境汚染等の現状、技術ニーズ、環境に関する法令等の把握・集積・公表
- ・対象国の環境汚染問題等に対応した制度・人材・技術のパッケージ案の検討・作成
- ・環境技術の戦略的な短期的・中長期的な国際展開方策の検討

② 中国・ベトナムにおける協力事業の実施

2. 事業のスケジュール（平成 21 年度当初イメージ）

注：網掛けは平成 21 年度本調査業務の対象
点線囲みは平成 21 年度中国・ベトナム個別事業の対象

